

おおの議会だより

No. 75

63.7.15



改築工事のため取り壊される有終会館

第237回 6月定例会

12議案を可決・同意

市会案 2件も可決

第237回定例市議会は6月15日招集され、会期を24日までの10日間と定め理事者から提出された議案12件について審議しました。その結果「昭和63年度大野市一般会計補正予算案」「大野市ふるさと自然の家設置条例案」「固定資産評価審査委員会委員の選任について」など全議案を可決・同意しました。また、議員提案による「国の昭和64年度予算概算要求に関する意見書の提出について」など2件も可決。市民の皆さんから出された請願・陳情は別掲のとおり決めました。

審議日程

15日	本会議（会期の決定、議案上程、提案理由の説明）
16日	休会
17日	本会議（一般質問）
18日	休会
19日	休会
20日	本会議（一般質問、追加議案の上程・採決、各案件委員会付託）
21日	委員会（建設・産業経済）
22日	委員会（教育民生・総務）
23日	休会
24日	本会議（各委員長報告質疑・討論・採決、人事案件・市会案上程、採決）

↓ 討中であり、本年度で完了の予定である。六間通りの延長や亀山周辺整備についても提案されているので、関係機関と調整を図りながら実現させたい。

総合病院について

問 今春、市区長会から二万七千余名の署名を添えて総合病院の誘致についての要望があった。その後、民間病院で「医誠会」と「厚生病院」の進出希望があると聞いている。

特に医誠会は県に許可申請を出しているとのことであるが、市としてこれらの運営内容等を検討したことがあるのか。

また、5月26日の新聞に「済生会病院」の移転新築計画が具体化されてきた中で、当市の要望を受けて分院を設置する構想が煮詰まったように報道されていた。今後、民間・公的を問わず市民の願望にこたえるため、誘致実現について

の決意を伺いたい。

答 2月17日に議長とともに県知事に総合病院の誘致陳情をした。

その結果3月25日の県医療審議会の答申では「大野市においては現在、病院の誘致につ

いて検討されているので、関係者の協議が整った段階で速やかに病床数の改定を行う」という特別条項が付されている。

これは大野市民の要望が反映されたものと高く評価している。

現在、民間の2病院の進出計画と公的施設である済生会病院の移転の話があるが、今後議会を特別委員会をはじめ、市医師会・地域医療協議会、その他関係者と精力的に協議を重ねて、早急に結論を出して県に陳情したい。



自然保護センター等が設置される六呂師高原神明山

されたが、またしても米の過剰基調が見込まれてきた。

このため、3回目の過剰米の処理は絶対に避けなければならないということから、昨年12月に「米の需給均衡化緊急対策」が発表された。

当市の配分は他用途利用米を含め423トンと大変厳しいが、食糧制度を堅持するためにも農業者各位の協力が必要である。

このため、当市では米の消費拡大計画を進めながら集団転作を強力に進めている。一方、低コストを目指して農用地の利用増、農業経営の規模拡大、中核農家の育成に努力している。

米消費拡大に関しては、農協が計画して各集落の協力を得て行っていることであるが、市としては今後、新しい事業の取り組みには万全を期したい。

永年勤続表彰

○全国市議会議長会・北信越市議会議長会

(36年以上在職)

山本 武

(25年以上在職)

推井 清男、奥村 忠光

農業問題について

問 当市の基幹産業である農業はそれ自体の経営が採算的に合わず、ほとんどが兼業化を進めることによって生計を営んでいるという実状である。

しかも、この農業を破壊しようとするような現在の農政の下で、農民はさまざまな困難と矛盾を抱いている。

先日でも当市で不幸な事態が発生したが、貧困な農政に対しての取り組みについて伺いたい。

答 53年度から一昨年まで9年間、水田利用再編対策が続けられ、昨年からは水田農業確立対策が打ち出

議案番号	件名	結果
第二十七号	昭和六十三年大野市一般会計補正予算(第一号)案	原案可決
第二十八号	昭和六十三年大野市老人保健特別会計補正予算(第一号)案	原案可決
第二十九号	昭和六十三年大野市簡易水道事業特別会計補正予算(第一号)案	原案可決

議案等の審議結果

大高の移転について

問 市長は今年2月に地元県議とともに、県知事をはじめ副知事・教育長に大高移転について要望し、64年着工、66年開校を正式に発表している。

建設位置は大野市が決定し、さらにその用地は市が買収するかのように聞いているが、県立高校であるので県が全額負担すべきではないのか。

まだ建設位置も決まっていないが、64年に着工できるのか。

移転反対に対してはどのようにコンセンサスを得るのか。

答 一部の市民の間に市街地整備のための移転でないのかという声があるが、そうではない。

現在、奥越4高等学校の学区制の見直しが進められており、さらには、新しい科目の設定等も浮上してきている。

これらの点から考えると、大高はもっと広い場所で伸び伸びと教育ができることが望ましいと思う。

新しい時代の要請にこたえて、行き届いた教育を受けられるようにするのが、われわれに課せられた課題である。

用地については3箇所から要請があるが、助役を本部長にした対策本部を設けて鋭意協議を重ねている。

これから県の意向を聞きながら



敷地が狭い大野高校

煮詰めていくことになるが、当市の財政負担にならないように対応したい。

用地取得については農振地域の除外やその他の問題があり、かなりの時間を要するので、64年度着工、66年度開校はむずかしいかもしれない。

工事入札選考委員会の運営について

問 工事入札に当たっては、総務課長をトップにした指名委員会を設けて検討し、最終的に市長が指名するということであるが、特定業者への片寄りや市長の介入などはないか。

答 大野市建設工事等指名業者選

定委員会規定によって指名委員会が構成されており、大野市建設工事入札参加者選定要領に基づいて厳正な入札執行に努めている。

指名委員会は設計額、見積価格が100万円以上を審査対象とし、8名の委員が独自性と十分な権威を保持しながら慎重に審査に当たっている。

物品購入の場合の課長専決は10万円までになっており、厳正な調査を行って購入している。

議員と市政発展計画の協議について

問 市政発展計画は議会の議決を得た基本構想を基本に実施されるものであるが、絶えず実績を検討しながらより正しい方向に進めることが必要である。

これまでの改訂状況を見ると、市長限りで策定した経緯があるが、国や県の施策と連携を密にしながら、議会側とも十分協議すべきであると思うが、どうか。

答 議会は行政に対する議決機関であり、監視機関でもある。指摘のように研究・協議のために議会から要請があればいつでも応じたい。

第236回 5月臨時会

請負契約など3件を可決・承認

去る5月12日、第236回臨時市議会が開かれ、理事者から提出された「大野市民会館改修工事請負契約について」「専決処分承認を求めることについて（市税賦課徴

収条例の一部改正）」「専決処分の承認を求めることについて（国保条例の一部改正）」の3件を審議した結果、いずれも原案どおり可決・承認しました。

学校建築について

問 六呂師小学校の敷地は高低差の関係で、校舎と校庭の二段になると聞いていたが、造成工事がほぼ完成した状態をみると三段になっているのではないか。

また六呂師高原は一大リゾート計画地に予定されているので、通常の校舎とは異なる、リゾート地にふさわしい校舎にしてはどうか。

答 現在は建物・進入路・屋外運動場の三段階で造成しているが、今後道路舗装や建物の整地、前庭等の環境整備工事を行うと、建物敷地と進入路の段差はなくなり、最終的には上段は校庭と体育館、保育所になる。

校舎については当初、リゾート整備計画区域でもあるので、若干検討したが、教育上質実剛健の気風が大切であるという考え方から、校舎や付随の建物を大きくすることにした。

その方が、六呂師に多くの人を訪れて学校開放をしなければならぬ場合でもメリットが大きいと思う。

公民館について

問 市長は前議会でも市街地の南部公民館は建てないと述べているが、現在、市街地には大野公民館しかないため利用度が非常に高く、



造成がほぼ完成した六呂師小学校の敷地



住民の要望にこたえきれない状況である。今後、既設の建物に公民館的なものを張り付けるのか。あるいは

建物を充実させるつもりなのか。

答 1小学校下に1公民館ということになると、区長会・婦人会・体育協会などすべての割り直しをしなければならないが、これはきわめて困難なため、1地区1公民館という考え方をしている。

この補填として56年度から昨年度まで、おおむね市街地を対象に市立集会所を14箇所設置しており、地域活動の拠点として地域づくりと人づくりに寄与している。

大野公民館の現在地は西の方へ片寄りすぎているし、建物もかなり古くなっており、内容もふさわ

しくない点があるので、今後の改築の時期には利用しやすいように市街地の中心的な場所を選んで建設したい。

人事案件

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

野村重一郎氏(45歳)
(日吉町10番1号)

人権擁護委員候補者の推薦に同意

明石禮子氏(63歳)
(中津川第31号13番地1)

農業委員を推薦

6月30日で任期満了となる農業委員会委員のうち、学識経験者として議会が推薦する委員に、次の5氏を推薦しました。

田中新一郎氏(64歳 美里町)
谷口彰三氏(53歳 犬山)
高橋誠一氏(63歳 下据)
松本一男氏(59歳 土布子)
林信治氏(57歳 西勝原)

第238回7月臨時会

請負契約2件を可決

去る7月7日、第238回臨時市議会が開かれ、「大野市小山小学校屋内体育館改築工事請負契約について」大野市六呂師小

学校校舎、屋内体育館改築工事(建築工事)請負契約についての2件を審議した結果、いずれも原案どおり可決しました。

委員会報告

各委員長報告から

● 建設委員会

① 河川改修について

最近の河川改修状態をみると維持管理面のみを重視して、三面張り工法を採用している。そのため川水の地下浸透は皆無に等しい状態である。

ほ場整備や河川改良工事は県施行も多いが、当市の名水や地下水を守るために帯工を取り入れるなど、技術面・工法面で十分協議すべきであるとの指摘があった。

● 教育民生委員会

① 保健行政について

市民が最も望む形の総合病院の建設に向けて、慎重かつ積極的に検討し、万全の対策を講ずるとともに、時期を失してせっかくの話が水泡に帰すことのないようにすべきであるとの強い意見が述べられた。

● 総務委員会

① O A 機器の管理方式について

事務の執行上、機器の導入の必要性は十分理解できるが、その利用度や稼働率からみると無駄があるように見受けられる。集中管理方式による有効的な活用や、全面的委託方式による経費の節減等について、今後の課題として検討すべきであるとの意見が述べられた。

② 大高移転について

大高移転による市街地の変貌を十分考慮し、各施設の整合性を図りながら遅滞なく作業を進め、9月定例会までにははっきりすべきであるとの意見が述べられた。

請願・陳情審議結果

番号	件名	提出者	結果
請願1号	大野市発注建築工事の地元業者への分割発注について	(株)旭電業社代表取締役 築川 満 外4名	採 択
請願2号	河川の改修、増設、延長について	中荒井1丁目区長 室谷義夫 外5名	採 択
請願3号	富嶋区内道の整備について	富嶋区長 米村 徹 外10名	採 択
請願4号	春日三丁目中区地籍通過水路の改修について	春日3丁目中区区長 田中俊雄 外6名	採 択
陳情10号	福井県立大野高等学校の移転について	新庄区長 永田正元 外24名	継続審査
陳情11号	犬山区生活改善センター建設資金補助について	犬山区長 谷口治衛 外26名	採 択
陳情12号	地域推進化事業「大野少年の翼」について	(社)大野青年会議所 理事長 稲山幹夫	採 択
陳情13号	危険防止用鉄鎖の改修について	北大野区長 角本 守 外12名	採 択
陳情14号	林道小畑線の新規採択及び早期着工について	中島生産森林組合長 角平利夫 外6名	採 択
陳情16号	新有終会館内の喫茶部門営業者の指名について	福井県喫茶業環境衛生同業組合 大野支部長 清水 了	採 択
陳情17号	大型間接税導入中止に関する陳情書	福井県労働組合評議会 議長 石田 等 外1名	継続審査
請願15号	蕨生小学校新校舎建設について	蕨生小学校校舎建設促進協議会会長 婦山甚治 外5名	取り下げ
陳情28号	蕨生小学校の校舎改築について	蕨生小学校校舎所在地建設同志会 代表 松田 広 外60名	取り下げ
陳情1号	福井県立大野高等学校の移転について	中保区長 長谷川 久 外22名	継続審査
陳情4号	し尿汲取り料金改正について	あかね衛生社 貝川兼男 外5名	採 択
陳情5号	上庄公民館の改築について	上庄をよくするつどい 会長 広田 豊 外13名	継続審査
陳情7号	日本たばこ産業株式会社福井支社富田葉たばこ取扱所跡地払下げについて	下麻生島区長 竹田 強 外8名	継続審査
陳情8号	名称・形式を問わず大型間接税の導入に反対する陳情書	大型間接税反対福井県連絡会 代表 大崎栄太 外26名	継続審査